

令和7年度（保育基礎）シラバス

教 科	家庭	科 目	保育基礎		
単 位 数	2	学 年	3	類 型	文系
教 科 書	保育基礎（実教出版）				
学習目標	家庭の生活に関わる産業の見方考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、保育を担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成することを目指す。				

授業計画

	学習内容	学習のねらい
1 学期	第4章 子どもの文化① 第2章 子どもの発達 第5章 子どもの福祉	・児童文化財などが、子どもの発達とどのような関わりを持つか、その意義を理解する。 ・乳幼児期の発達の大切さとその過程を理解し、様々な側面から子ども発達をとらえる。 ・時代の変化と共に子どもを権利の主体として尊重する考えが世界で共有されつつあることを理解する。
2 学期	第3章 子どもの生活 第1章 子どもの保育	・乳幼児期の栄養と食事について理解するなど、心身の健康を保つための知識と技術を身につける。 ・子どもを取り巻く環境の変化や、保育の課題について理解し、適切な保育環境について考察する。
3 学期	第4章 子どもの文化②	・子どもの遊びと、表現活動の意義を、具体的に遊具等をつくるなどの活動を通じて理解する。

評価の観点及び内容、評価方法

評価の観点及び内容		評価方法
知識・技能	保育の意義や方法、子どもの発達や生活の特徴及び子どもの福祉と文化などについて体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身に付けている。	・小テスト ・作品提出 ・実技テスト
思考・判断・表現	子どもを取り巻く課題を発見し、保育を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を身に付けている。	・小テスト ・レポート ・作品提出
主体的に学習に取り組む態度	子どもの健やかな発達を目指して自ら学び、保育に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	・授業に取り組む態度 ・提出物 ・自己評価シート